

同じ内容でも反応差

他人だけいいねが集まる / 時間かけてもスルー

数字で差を突きつけられる

自分だけ伸びない感覚
センス不足と感じる瞬間

原因が見えないまま投稿

「配慮」と「設計」の欠如

現状の分析

感覚だけで書いている

- 順番が設計されていない
- 思いつきの言葉配置
- 読み手への配慮不足

感情移入前に離脱
記憶に残らず終了

幻想を捨てる

- × センスで決まる
- × 自然体なら届く
- × 内容が正しければ伸びる
- × 感覚で当たる
- × 言葉の上手さが全て

その理解では再現不能

裏に「順番の設計」がある

言葉の並びを決める

最初に「共感」を置く

途中で「自分ごと化」

最後に「余韻」を残す

読者の歩幅に合わせる

感情の流れを設計する

「再現」できる形へ

感情移入が起きる
途中離脱が減る

- 最後まで読まれる確率上昇
- 記憶に残る投稿
- 静かな反応が増える

再現できる形になる

投稿に安定感が出る

一投稿を「分解」する

1. 冒頭に共感一行追加
2. 中盤に自分ごと化一行
3. 最後に背中押し一行

順番を整える
そのまま投稿

反応の差を見る

投稿前の品質点検

- ☐ 最初に共感があるか
- ☐ 途中で引き込みがあるか
- ☐ 最後に余韻があるか
- ☐ **感情が段階で動くか**
- ☐ 一文ごとに役割があるか
- ☐ 流れが途切れていないか

「型」で感覚を卒業する

- 設計を型として固定
- 毎回同じ順序で構築
- 感覚依存を排除
- 反応パターンを蓄積
- ズレたら設計に戻る

必要なら外から修正

必要な人だけ次へ